

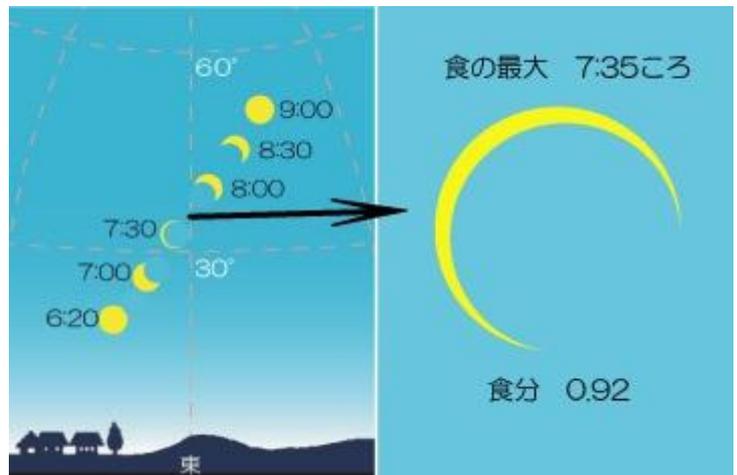
No.409

# 太陽が細い三日月の形になる！

—「日食メガネ」または「穴をあけた紙を通った太陽の光を地面に投影して」みてみよう—

## 日食はいつ見える？

5月21日(月)の朝、全国各地で日食が見られます。富山市では太陽の直径の92%が欠け、細い三日月の形になります。特に東京、名古屋、大阪など太平洋側の多くの地域で、太陽がリングのように見える<sup>きんかんにっしょく</sup>金環日食となります。本州で<sup>きんかんにっしょく</sup>金環日食が見られるのは129年ぶりになり、大変めずらしい<sup>げんしょう</sup>現象です。日食のはじまりは午前6時20分過ぎで、7時35分に最大になります。7時25分から約15分間は、三日月状の太陽の向きが変わるので、これも見ものです。その後、じょじょに太くなり、午前9時に丸い形に戻ります。空の明るさは一時、曇りの日のような少し暗めの空になりますが、連続して観察していないとわからないでしょう。



## 日食を見る時のご注意

太陽を直接見るのは大変危険です。日食を観察するには必ず、太陽の光を大幅に弱めることができる日食メガネ(日食グラスなど色々な名前がある)をご使用ください。

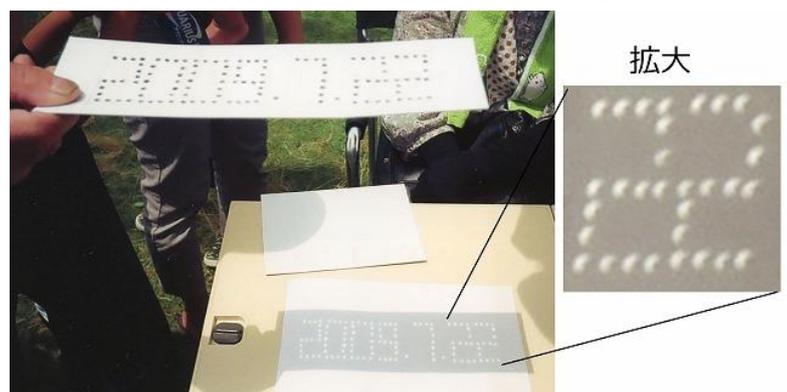
日食メガネのない場合には別の方法があります。直径4mmよりも小さい穴をあけた紙をご用意ください。さらに、地面に白い厚手の紙を太陽の方向に対して<sup>すいちよく</sup>垂直に置いてください。小さい穴をあけた紙に太陽の光を通して地面の白い紙に<sup>うつ</sup>映してください。その紙に太陽の形が映し出され、欠けているのがわかります。穴が大きい場合は地面との<sup>きより</sup>距離を長くしてください。紙がない場合は5円、50円硬貨でも使えます。それもない場合は、親指と人差し指をまるめて、小さな穴をつくり、太陽の光を地面に映してください。なお、穴をたくさんあけると一つ一つの穴に三日月形の太陽が映し出され、下の写真のような楽しいふんいきになります。

富山市天文台では観測会を行い(7:00-8:30)、インターネットでも<sup>ちゅうけい</sup>中継をする予定です。ただし、雨天曇天時は中止です(問合せ先:富山市天文台 076-434-9098)。ご参加をお待ちしています。

(渡辺 誠)



親指と人差し指で穴をつかって、太陽の欠け具合をみてみよう 2004年10月14日撮影



紙に穴をあけて、太陽の欠け具合をみてみよう  
2009年7月22日撮影